

ユーネットだより

令和8年6月号

初石駅東口前の公園！令和8年6月3日より供用開始となりました。

流山市暮らしサポートセンター ユーネット

〒270-0121 千葉県流山市西初石3丁目101-21鈴木ビル1F

TEL 04-7197-5690 Mail: yu-net@lec.co.jp

<https://public.lec-jp.com/seikatukonkyuu-nagareyama/>

受託運営：株式会社東京リーガルマインド



暮らしに困っている相談者によりそいながら、自立に向けてお手伝いをするのが、

流山市暮らしサポートセンター ユーネット です。

【ごあいさつ】

「ユーネットだより」令和8年6月号を掲載いたします。梅雨の時期を迎えましたが、その後は「酷暑」の季節がやってきます。日々の相談業務を続ける中で痛感するのは、心身の健康を維持することが、いかに生活の質を担保することに必要かということです。これから耐え難い暑さが昼夜続く日々になりますので、皆様には、屋外での活動だけでなく、屋内での生活にも十分な注意をいただければと思います。



北小金駅より徒歩約20分 あじさい通り

令和8年度がスタートし、(株)東京リーガルマインドが流山市生活困窮者自立支援事業を流山市から受託してから最終年度の3年目となりました。

今号では、令和7年度の相談実績の主な数値などから、相談者の特徴や抱える課題、支援の方向性などを分析した結果を掲載しました。そこから見えてきたのは、進む高齢社会の現実や発展する地元流山市の姿です。同時に益々複雑化する相談内容と支援の難しさでした。

ユーネットでは今年度も、これまでに蓄積した知見や地域資源との連携を活用しつつ、様々な相談ケースに対応してまいります。

(つづ)

流山市生活困窮者自立支援事業

(つづき)

1. 新規相談者数推移

年度	2025	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015
人数	213	169	185	204	312	683	259	185	201	155	139

2. 令和7年度新規相談者213人の年齢区分

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	年齢不明
1	31	29	21	44	23	35	29

3. 令和7年度新規相談者のうち「精神・心理面」に疾患や障害を持つ方 68人

4. 令和7年度新規相談者のうち「住まい」に関する相談者

- (1) 相談者数 59人 (2) うち、家賃の支払・住まいの確保についての相談者数 41人
(うち、住まいの喪失危機についての相談 18人)

以上の結果から、①高齢の相談者の割合が高いこと(約27%)、②精神・心理面に疾患や障害を持つ方の割合も高いこと(約32%)が傾向として分かります。

【住まいの問題について】

「住まい」に関する相談も全体の27%を占めていますが、相談の現場では「単身高齢者」と精神・心理面に疾患や障害を持つことで就労が不安定な方が、住居を喪失する危機に至った場合、新たな住居を賃貸借契約することが極めて難しいという現実があります。

以前の「情報だより」にも記載しましたが、流山市では社会動態による人口増(千葉県内増加率1位/2025年国勢調査速報値)と住宅地の価格上昇(千葉県内上昇率1位/2026年地価公示価格)が依然続いており、「住まい」に対するニーズが高いことから、貸主側にとっては、安定した家賃収入を見込める入居者との契約を優先する傾向があることがこの背景にあります。

【就労の問題について】

生活維持のために必要なこととして重要なことは、安定した収入の確保ですが、上記の相談者にとって、新たな住居の確保とともに困難なこととして「就労」の問題があります。

まず、高齢者の就労については、特に70代以降の年齢になると、本人に就労意欲があり、健康であったとしても、相当の経験や技能が無い限り、雇用者側の扉はかなり狭いという現実と高齢者を積極的に雇用する職種が限定的であるという問題があります。

また、精神・心理面に疾患や障害を持つ方の就労については、特にパワハラなどにより、休職・離職に至った場合、復職・就職できるまでの回復期間が長期になるため、この間のセーフティネットである、傷病手当金や雇用保険の給付が終了してしまうという事態が珍しくありません。

障害者福祉及び障害者就労の分野では、障害手帳や診断書に基づき、利用できる支援メニューが数多くありますが、利用対象者や支援内容が重なりあっているなど、支援者にとっても分かりにくく、さらには、休眠状態にある制度や事業もあるため、利用希望者にとっては、入口の段階で壁があるとも言えます。

【今後の支援について】

このような難しいケースについて、今後の支援の方向性ですが、ユ一ネット単独での支援からさらに進めて、障害福祉の分野、障害者就労の分野、生活弱者の住まいを支援する居住支援法人などとの連携で、できる限り実現可能な支援と、そのための関係づくりにも取り組んでいきたいと考えています。